

## I 対象高等専門学校の現況及び特徴

### 1 現況

#### (1) 高等専門学校名

福井工業高等専門学校

#### (2) 所在地

福井県鯖江市

#### (3) 学科等の構成

学 科：機械工学科，電気電子工学科，  
電子情報工学科，物質工学科，  
環境都市工学科

専攻科：生産システム工学専攻，  
環境システム工学専攻

#### (4) 学生数及び教員数（平成17年5月1日現在）

学生数

単位：名

準学士課程	1年	2年	3年	4年	5年	計
機械工学科	40	40	40	41	35	196
電気電子工学科	40					40
電気工学科		40	42	40	39	161
電子情報工学科	40	40	43	40	37	200
物質工学科	40	42	41	39	37	199
環境都市工学科	40	40	40	41	36	197
計	200	202	206	201	184	993

専攻科課程	1年	2年	計
生産システム工学専攻	13	17	30
環境システム工学専攻	13	11	24
計	26	28	54

教員数（長期海外渡航者を除く）

単位：名

区 分	教授	助教授	講師	助手	計
一般科目	9	12	4	0	25
機械工学科	5	3	1	2	11
電気電子工学科	5	4	0	1	10
電子情報工学科	4	4	1	2	11
物質工学科	5	3	2	2	12
環境都市工学科	5	2	1	1	9
計	33	28	9	8	78

### 2 特徴

福井工業高等専門学校は、実践的開発型の技術者の養成を目的に昭和40年4月に設置された。これまでに5,503名の本科卒業生及び158名の専攻科修了生を送り出している。現在、「機械工学科」、「電気電子工学科」、「電子情報工学科」、「物質工学科」、「環境都市工学科」の5学科において、実践性と創造性を併せ持つ高度技術者を養成すべく、5年一貫教育を行っている。また、平成10年4月には専攻科を設置し、「生産システム工学専攻」、「環境システム工学専攻」において、さらに進んだ教育も行っている。

教育の特徴としては、豊かな創造力とデザインマインドを持つ技術者を育成するため、「ものづくり教育」を進め、NHKアイデア対決ロボットコンテストでも毎年のように上位に入賞し、平成5年度、平成9年度の2度にわたって最高の賞であるロボコン大賞を獲得している。

本校を目指す中学生に対しては、アドミッションポリシーを示すと共に、平成17年度には、入学時に学科を決められない中学生のために、2年次より転科可能な「工学基礎コース」を全国で初めて設置した。

また、福井高専は地元で立脚した学校及び地元に関われた学校を目指し、産官学共同研究を進めている。福井県における産官学共同研究ネットワークの中心の一つである「地域連携テクノセンター」では、地元で密着した共同研究を進めている。福井県の伝統産業である和紙の生産者の組合である、福井県和紙工業協同組合と地元町の依頼により「伝統産業支援室」を設置し、和紙に関する共同研究を行っている。

さらに、福井高専の立地する鯖江市は世界最大の眼鏡枠生産地である。福井県眼鏡工業組合とも新しい産官学共同研究事業を開始し、眼鏡枠材料に関する共同研究を「地場産業支援室」の設置により行っている。また、平成17年5月には、これら地域社会との連携をさらに深めるため、近隣2市1町と本校は包括的な連携である「地域連携協定」を結び、さらなる共同研究・出前授業・リカレント教育に取り組むこととした。これらの研究により、科学研究費補助金の採択件数・金額は全国高専中飛び抜けた存在となっている。

国際連携としては、海外学生派遣制度の他、平成17年度からオーストラリアの Ballarat 大学と提携し、学生の相互交換留学制度を開始することとした。

学校運営の評価として、平成14年度に校外の有識者による外部評価委員会（平成16年度より評議員会）を設置し、開催後に結果の開示を行っている。

また、平成17年5月には日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定校となった。その後も、公開授業、学生・教員相互からの評価などにより、恒常的な教育改善に努めている。